



病院だより

第38号

新城市民病院広報委員会

新城市字北畑32-1

Tel 0536-23-7852 (総務課)

Fax 0536-22-2850 (総務課)

2月から実施します！ 子宮頸がんの予防接種

子宮頸がんは、発がん性のヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因で子宮の入口にできるがんです。HPVは多くの場合、自然に排除されますが、排除されなかった一部のウイルスの感染が長期間続くと、子宮頸部の細胞が異常な形態（前がん病変）となり、前がん病変の一部ががん細胞へと変化します。

HPVは100種類以上あり、その中でも女性生殖器関連のHPVは40種類前後です。そのうち、発がん性のものは10数種類です。



発がん性HPVは性交渉によって感染しますが、性交経験のある女性の約8割の方が一生のうち一度は感染するといわれるほど、ありふれたウイルスです。

子宮頸がんは幅広い年代の女性にみられますが、特に最近では20代から30代に急増しています。

もし、子宮頸がんになっても、はじめのうちは自覚症状がないため、自分ではなかなか気づきません。また、HPVは一度排除されても、何度でも感染するため、定期的に検診を受けるなどして早期発見に努めることが大切です。

ごく初期に発見できれば、多くの場合、子宮を温存することができますが、進行すると子宮全体の摘出や放射線治療、薬を使った治療も必要となり、妊娠や出産に影響を及ぼします。

従来、日本における子宮頸がんの予防には定期的な検診以外ありませんでした。海外ではすでに100カ国以上でワクチン接種による予防策がとられていましたが、日本では最近ようやくワクチンの販売が許可されました。

ワクチンを接種することで、発がん性HPVのうち、子宮頸がんから多く見つかるHPV16型と18型の2種類の感染をほぼ100%防ぐことができます。ワクチンの効果は7年程度までは確認されていますが、今後の経過観察によりさらに延長するものと期待されています。

ワクチンを接種したからといって絶対に子宮頸がんにならないわけではありません。

ワクチンで予防できないウイルスもありまます。また、すでに感染しているHPVを排除したり、すでに発症している子宮頸がんや前がん病変の進行を遅らせたり、治療したりす

ることが出来るわけではありません。だから子宮がん検診は必要です。

子宮頸がんは、ワクチン接種と定期検診で予防することができます。ワクチン接種は、まだ感染の可能性がない（性交渉の経験がない）10歳以上の女性へ実施できれば最も効果が高くなります。性交渉の経験があるからといってワクチンの効果が期待できないわけではありません。このウイルスは何度も感染するため、ワクチンを接種することで次の感染を防ぐことができます。



ワクチン接種は、1回目を接種してから1カ月後と6カ月後の計3回行います。3回接種することで十分な効果目が見られるため、キチンと最後まで接種することが重要です。料金は3回分でおおよそ4万3千円です。国内でのワクチン販売開始から日が浅いため、医療機関によっては取り扱っていないところもありますので、ワクチン接種を希望される場合は、事前に医療機関へ確認することをお勧めします。なお、当院では2月から子宮頸がんの予防接種を予約制で実施します。

から子宮頸がんの予防接種を予約制で実施します。

お問い合わせ
市民病院 婦人科外来・小児科外来
電話 0536-22-2171 (代表)

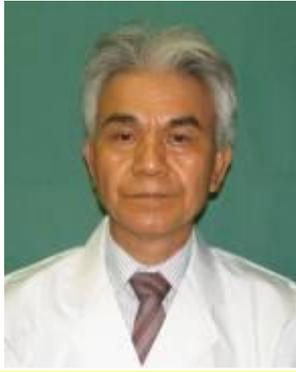
開設しました! せきずい 脊髄外来

手足のしびれ・痛み・脱力・震え、歩行障害、腰痛など、脊髄のトラブルが原因と考えられる病気の診断をより専門的に行えるように「脊髄外来」を開設しました。

当院の樋下田部長医師（常勤嘱託医師）が今までの脳神経外科医と脊髄外科医としての両方の経験を活かし、脳疾患から脊髄、末梢神経に至るまで幅広く原因を追及します。

椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症、変形性頸椎症、後縦靭帯骨化症などさまざまな病気があり、その対処法や治療法がそれぞれ異なります。

MRI検査などで原因を探り、それぞれにあった対処法をアドバイスします。診断の結果、特別な治療などが必要な場合には、ご相談の上、専門医療機関へ紹介させていただきます。



リハビリ科
ひげた
樋下田 稔昭 部長医師

脊髄外来は
毎週金曜日午前のみ
受付 8:00~11:30

神経内科 初診患者受け付けます

神経内科は脳や脊髄、神経、筋肉の病気を診る内科です。心の病を扱う精神科や心療内科と間違われやすいですが、体を動かしたり、感じたりすることや、考えたり覚えたりすることが上手にできないような病気の診察をします。症状としては「手足のしびれや脱力、めまい、頭痛、つまづきやすい、ふらつく、しゃべりにくい、むせやすい、意識障害」などがあります。

これまでではかかりつけの患者さんや紹介状をお持ちの患者さんを診察してきましたが、1月から初診の患者さんも毎日受診できるようにいたしました。

また、当院神経内科にかかりつけの患者さんで次の予約までの間に症状が悪化したり、体調がすぐれなかったりしたときにも神経内科で診察を受けられます。なお、もの忘れ（認知症）については引き続き月曜日の午後のみ予約制で受けさせていただきます。

受付時間 8:00~11:30

神経内科	月	火	水	木	金
初診	祖父江	石原	祖父江	石原	祖父江

今年も参加しました

新城マラソン

1月17日(日)、
県営新城総合公園で第34回新城マラソンが開催され、今年も消防本部救急隊とチームを組み、救護班として参加しました。

昨年が続いて今年も2千人を超過出場者でしたが、救護班が活躍するようなこともなく、無事大会が終了しました。

また、今年も数名の市民病院職員が10kmの部や健康ジョギングなどにエントリーし、健脚を披露しました。



救護班として参加した市民病院職員と消防署職員



成人男性10kmの部ランナーとして参加した
(右)外科 横井医師
(左)放射線課 渡辺技師
好タイムで見事完走しました

